

# 大阪樟蔭女子大学

## 実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名	大阪樟蔭女子大学		設置者名	学校法人 樟蔭学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成17年度)		
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数	教員就職者数
学芸学部	国文学科	70人	中一種免(国語) 高一種免(国語) 高一種免(書道)	昭和29年度 昭和29年度 平成12年度	58人	22人 18人 19人 6人	0人
	英米文学科	70人	中一種免(英語) 高一種免(英語)	昭和29年度 昭和29年度	82人	16人 16人 16人	0人
	日本文化史学科	60人	中一種免(社会) 高一種免(地理歴史)	平成13年度 平成13年度	46人	15人 14人 15人	0人
	食物栄養学科	80人	中一種免(家庭) 中一種免(保健) 高一種免(家庭) 高一種免(保健) 栄教一種免	昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度 昭和29年度 平成17年度	88人	15人 15人 15人 15人 -	0人
	被服学科	60人	中一種免(家庭) 高一種免(家庭)	昭和29年度 昭和29年度	87人	22人 18人 22人	3人
	インテリアデザイン学科	60人	中一種免(家庭) 高一種免(家庭)	平成16年度 平成16年度	-	- - -	-
	人間科学部	児童学科	120人	幼一種免	平成13年度	137人	121人
人間社会学科		125人	中一種免(社会) 高一種免(公民)	平成17年度 平成17年度	-	- - -	-
入学定員合計		645人	合計		498人	211人	52人
備考	・「免許状取得者数」欄の、左側には各学科等の実人数を、右側には学科等内の教員免許課程ごとの人数を記載している。						

右欄の指摘等にかかる現在の状況		委員による指摘又は指導・助言等	
全般的事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員養成に関する施設・設備や、学生の支援体制など学習環境が整っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習環境がよく整っているため、今後ともこの環境をどのように活用していくかについて、引き続き検討してほしい。</li> </ul>	
個別的事項	教員養成に対する理念等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般的な教員像ではなく、貴大学独自の教員養成に対する理念について全学的な議論を深めて明確化し、その理念が教員組織やカリキュラム編成、施設・設備の活用の在り方等に反映されるよう取り組んでほしい。</li> </ul>	
	教育課程 教職に関する科目等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業科目「教育心理学」において、教育職員免許法施行規則(以下「施行規則」という。)に定められている「各科目に含めることが必要な事項」(以下「必要事項」という。)である「障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」が含まれていない授業科目がある。</li> <li>・授業科目「生徒指導論」において、施行規則に定められている必要事項である「進路指導の理論及び方法」が含まれていない。</li> <li>・授業科目「教育相談論」において、施行規則に定められている必要事項である「カウンセリングに関する基礎的な知識」が含まれていない。</li> <li>・授業科目「総合演習」について、特定のテーマに絞られていたり、総合的な学習の時間に対応するための科目となっているなど、科目の設置趣旨に合致していない授業科目がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全課程を通じて、法令に定められている「各科目に含めることが必要な事項」が網羅的に含まれた授業科目となっているか、科目の設置趣旨に沿った内容になっているかなどを、再度見直しを行い、それらの内容をシラバスに明記すること。</li> <li>・「総合演習」は、本来の科目の設置趣旨に沿って改善を図ること。すべての学生が複数のテーマを網羅的に履修できるように、授業科目の内容・履修方法を検討すること。</li> </ul>
	教育実習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導室を設け、現場経験のある教員が学生への指導や助言を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習指導室やボランティアの取組は積極的に行っているが、大学としての組織的な指導体制を確立させることにより、指導の充実を図ってほしい。</li> <li>・大学と教育委員会との連携のあり方も検討してほしい。</li> </ul>

<p>教職指導、 介護等体 験等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程委員会を置いてカリキュラムを検討している。</li> <li>・子ども観や教育観の変革のため、教育の基本である「教育原理」を4単位設定し必修としている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今後の教員養成・免許制度の在り方について」(平成18年7月11日答申)に言及されている教員養成カリキュラム委員会にあたるような教職課程委員会がよく機能している。</li> <li>・特色あるカリキュラム設定は評価できる。</li> </ul>
<p>免許状取得状況及び教員就職状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特記事項なし。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員就職支援のため、学内でどのような組織を作るか、全学的に検討してほしい。</li> </ul>
<p>施設・設備の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館、図書館、情報機器等の設備については、充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備についても、目指す教員像を念頭において集書計画を立てたり、学習指導要領や教科書などを利用しやすいように設置するなどの点に配慮してほしい。</li> <li>・シラバスで示されたテキストや参考図書を置くコーナーを設置するなどして、図書館の利用と授業を連動させ、授業効果を上げるようにほしい。</li> </ul>